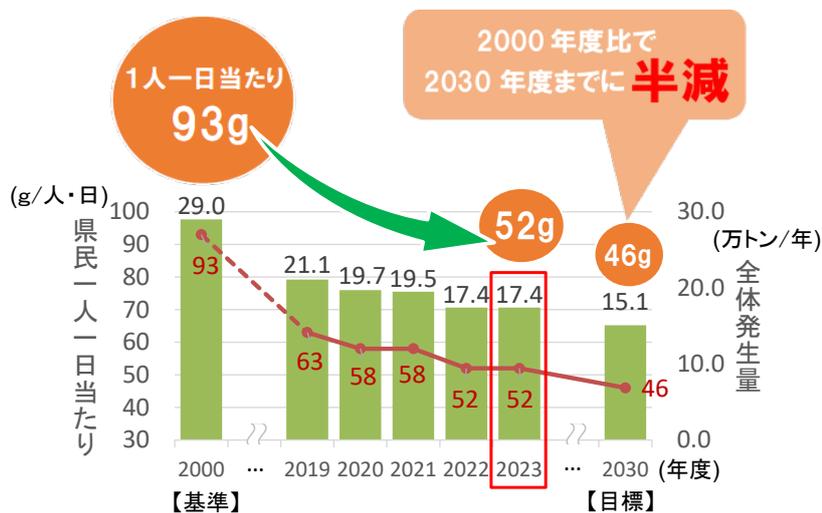


神奈川県食品ロス削減推進計画に係る目標の達成状況

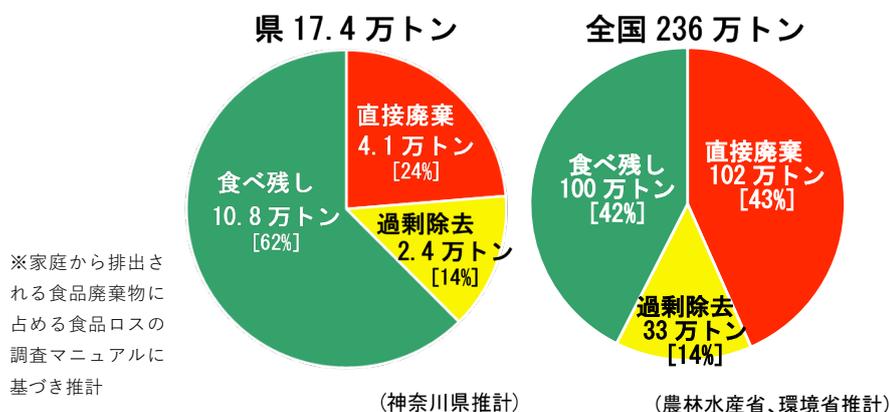
「神奈川県食品ロス削減推進計画」における家庭系及び事業系食品ロス量の削減目標について、目標達成に向けた進捗状況は以下のとおりです。

1 家庭系食品ロス量

- 家庭系食品ロス量の削減目標は、県民1人1日当たりの食品ロス量を2000年度比で2030年度までに半減（93g/人日→46g/人日）
- 2023年度の家庭系食品ロス量は17.4万トンで、県民1人1日当たりの食品ロス量に換算すると52g/人日、2000年度比で約41g/人日削減（▲44%）となり、2019年度以降減少傾向で推移
- 全国の発生量と比較可能な2022年度の推計値では、本県の発生量は全国の約7%であり、発生状況の内訳は「食べ残し」が約62%を占め、全国値よりも大きな割合
- 家庭での「食べ残し」を減らすため、日常生活での買いすぎ・作りすぎの抑制、食べきる習慣に関する意識啓発などの取組を進める必要がある



グラフ1 県民1人1日当たりの家庭系食品ロス発生量の推移



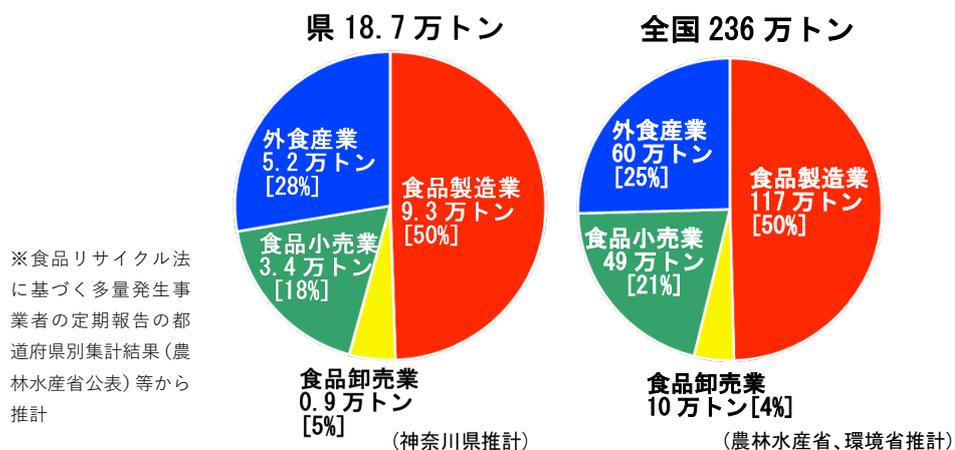
グラフ2 家庭系食品ロス発生量（2022年度）の内訳（神奈川県、全国）

2 事業系食品ロス量

- 食品産業等の事業活動から発生する事業系食品ロス量の削減目標は、県内で発生する事業系食品ロス量を 2000 年度比で 2030 年度までに半減 (44.2 万トン→22.1 万トン)
- 2022 年度の事業系食品ロス量は 18.7 万トンで、2000 年度比で約 25.5 万トン削減 (▲58%)
- 新型コロナウイルスによる市場の縮小等の影響があったものの、事業者による取組が着実に進められ、直近では 3 年連続で目標を達成
- 2022 年度の全国の発生量と比較すると、本県の発生量は全国の約 8% であり、発生状況の内訳は「食品製造業」が約 50% と最も多く、「外食産業」は約 28% と国よりも大きな割合
- 事業系食品ロス量を減らすため、食品関連事業者が排出する規格外品等の未利用食品をフードバンク団体へ提供、外食産業から発生する食べ残しの削減などの取組を進める必要がある



グラフ 3 事業系食品ロス発生量の推移



グラフ 4 事業系食品ロス発生量 (2022 年度) の内訳 (神奈川県、全国)